

# 第21回 外国人市民による 日本語スピーチコンテスト 受賞者



2月20日(土)に川崎市国際交流センターホールにて、「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」が開催されました。雨にもかかわらず



司会  
ムハンマドさん  
(エジプト)

らず、222名の来場者が出場者の応援に駆けつけました。

コンテストの条件は「来日5年以内の外国人市民」で、今回は13名(中国6名、ベトナム3名、ネパール2名、モンゴル1名、カンボジア1名)が出場しました。審査委員長の関口明子さんの、「全体として、とても心あたたまるスピーチコンテストであり、静かな語り口も魅力となって聴衆を惹きつけました。また、若者たちが日本を理解しよう

としてくれることこそが、世界平和につながると思います。」との講評が印象的でした。

上位受賞者3名にインタビューをさせていただきました。

質問内容は：

- ①日本語スピーチコンテストに参加するきっかけと感想
- ②テーマを選んだ理由は？
- ③好きな日本語は？

## 最優秀賞



カデュカ  
ダルマ ラズさん

●ネパール出身

## 審査委員長賞



チルハースレン  
バーサンドルジさん

●モンゴル出身

## 川崎商工会議所会頭賞



チャン  
ティフェンさん

●ベトナム出身

### 「求む!日本の底力」

- ①最初は日本語力に自信がなくて断りました。しかし、学校の先輩やクラスメートに励まされ、来日したばかりの時は苦労した日本語の、勉強の成果を発表してみたいと思いました。出場して楽しかったです。
- ②故郷ネパールでは、国の将来を考える人が少ないように感じたので、スピーチにはネパール人へのメッセージも込めました。例えば「ゴミはゴミ箱へ」というルールはみんなが知っているけれど、実践は難しい。私も来日したての頃、道にゴミを捨てたことがあります。しかし、何日も自分のゴミだけが残っているのを見て恥ずかしくなり、とうとう自分で拾ってゴミ箱に捨てました。
- ③日本語の擬音語や擬態語のひびきが好きです。

### 「人とつながりたい」

- ①先生からの薦めもあり、いい経験になると思って出場しました。来月帰国するので、良い思い出になりました。将来の励みとなります。
- ②私はSNS\*などを使うより実際の“つながり”を大切にしたいと、いつも思っているからです。
- ③「愛」は日本語に“はまった”きっかけの言葉です。



ミニコンサート：バラライカプラス(ロシア)

### 「沈黙の意味」

- ①帰国する前に、日本の友人やお世話になった皆さんへ感謝の気持ちを伝えたくてからです。また、自分の経験が他の留学生たちのためになればよいと思ったので出場しました。そして、会場の皆さんの笑顔から自分の気持ちが伝わっていることがわかり、うれしかったです。
- ③敬語はきれいな言葉ですね。ベトナム語にもていねいな言葉はありますが、日本語の敬語はもっと意味が深いように感じます。



留学生のボランティア(台湾2名、マレーシア1名)  
(取材・文：編集ボランティア 青柳尚子)

\*SNS:ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のインターネットサイトのことで、FacebookやLINEなどが代表例。